

イブキ (カイツカイブキ)

【 区画⑭(80), 区画⑯(89), 区画⑰(94, 95),
区画⑱(97, 100, 104, 106, 107), 区画⑲(109, 112, 115) 】

学名	<i>Juniperus chinensis</i> “Kaizuka”	分類	ヒノキ科ビャクシン属
分布	本州から九州の島や海岸	樹高	4~10m常緑小高木

〈特徴等〉

名前の由来	<ul style="list-style-type: none"> イブキは伊吹山に生えていたことからついた。 (カイツカは大阪府貝塚市で、品種改良して作られたことに由来する。) 		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	<ul style="list-style-type: none"> 雌雄異株で4月に咲く。雄花は楕円形で鱗片(うろこ状の構造)に2つやくを持つ。 雌花は紫色である。 		
結実等	<ul style="list-style-type: none"> やや肉質な球形で熟すと紫がかった黒色である。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 葉が立体的につき、枝が旋回するように伸びて、炎のような形になる。 		

〈写真〉

		
樹木 (6/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (6/12)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

＜参考文献＞ 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 152

林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 269